



～ひまわり市場の熱き仲間たち～



ニッポンのワイン界の伝統を背負って来た人呼んで「世界のヒライデ」が北杜市に参上！

「歴史ある甲府のワイナリー・サドヤで、人生の半分以上を山梨ワインの隆盛に捧げてきたあの男が、うちの一員になってくれた！」と那波社長をはじめ、スタッフみんなを喜ばせているのが平出逸さんだ。またの名は「世界のヒライデ」。かねてより念願だった北杜市への移住を果たし、この4月から知識・人脈・情熱を兼ね備えた酒類と接客のプロフェッショナルとして、ひまわり市場で活躍中。その英気に溢れる胸の内を語っていただいた。
(文・佐々木知勢子)



▲「熱い人の中には、時にうざったくなってしまう人がいるかもしれませんが、那波社長は『人を想う気持ちが熱い人』なので、押しつける感じが全くない。だからお客さんや取引先さん、スタッフの誰もから愛されるんでしょうね」と平出さん。

9年間、戦友として一緒に売り場を築いてきた思い

最初に平出さんがひまわり市場を訪れたのは9年前。ワインの味についてお客さんの質問を受けた那波社長から、酒造元のワイナリー「サドヤ」に直接連絡が入ったという。「その時の担当だった彼の対応が素晴らしくて、本当に助かりました」と那波社長。平出さんは「お客様の声は何より大事です。たとえクレームだとしても、お店や商品を愛する強い気持ちの表れですから、黙って見過ごされるよりずっといいですね。そういう方こそ逆にきちんと接すれば、長くお付き合いができると思っています」と柔らかく微笑む。

それをきっかけに、ひまわり市場の店内で始まった「ワインの試飲販売」。平出さんに提案されるまでは思いもつかなかったという那波社長は「実際に味を確かめてから購入したい」「ワインについてもっといろいろなことを知りたい…」というお客さんがこんなにたくさんいるのかと驚いたそうだ。

「月に1度はサドヤから通いましたが、いつも『心はひまわり市場の人間』として立っていました」と平出さん。もし「私の立ち位置はワイナリー側ですから」とどこかで一線を画してしまったら、その日の仕事に身が入らない。お盆やGWなど怒濤の繁忙期には、平出さんも「メシヌキ」で奮闘してきた。

「いわば、我々は長年来の戦友です」。一体感を大切にしている那波社長は誇らしくそう語る。

ニッポンのワイン、地元のお酒の美味しさを知ってほしい

父上もサドヤの大番頭として活躍されていたそうで、華麗なるワイン一族の中で育った平出さんは「正月用のお屠蘇も白ワイン…という家だったので、幼少時よりほんの少し口に含んで味わってはいましたが、大人になってからとにかく好きで飲んでいたのは清酒の方でした。そんな私がワインを本格的に飲み始めたのは、30年程前に父のすすめでサドヤに入ってからですね」と語る。



清酒と同じように日本人の食文化にぴったりと合うニッポンのワインの美味しさに目覚めた平出さんは、それ以来、ひたすらその普及に務めてきた。「輸入ワインしか飲まないという方にも、ぜひ、ニッポンのワインの優しい味わいを知ってほしい」。平出さんは熱い想いを口にする。特に、山梨は古くからワインの名産地として歴史が深い。知る人ぞ知る小さなワイナリーも点在し、丹精込めて作られた貴重なワインがたくさんある。せっかく山梨に暮らしているのだから、ぜひ地元の人たちに味わってもらいたいと切望している。

そんな平出さんの知識と人脈のおかげで、仕入れ先が瞬間に増え、ひまわり市場では1ヶ月で4割も酒類の売上げが伸びているそうだ。「納得いく説明ができないものや意味もなく高いものは仕入れない」という平出さんの元には必然といいお酒が集まってくるのだ。売り場では「世界のヒライデ」のアドバイスを求め、時にはお客さんが列をなす。「お刺身にはこのワイン、普段のご飯に合わせやすいのはこちら…など、お酒の楽しみ方をいろいろお伝えしたいです。ぜひ、声をかけて下さい」。落ち着いた表情でそう呼びかける平出さん。ひまわり市場のプロ集団にまた一人、心強い専門家が仲間入りした。

平出逸さん (51歳)

甲府市出身で、今年3月より北杜市に移住。翌4月、ひまわり市場に参入。名門ワイナリーで長年培ってきた経験をもとに、酒類・接客担当として活躍中。

ご自身の愛され&いじられキャラについては「店内MCで『世界のヒライデ』と那波社長に連呼されるとすごく恥ずかしいです」と告白する。また「ひまわり市場は入口から出口まで仕事のプロが勢揃いしているので、自分も一からがんばりたい。今、レジ打ちの大変さを身をもって実感しています」と話し、常に謙虚な姿勢で日々の仕事に励んでいる。



北杜市への移住をかきたてた試飲販売を通じた交流

それまで全国各地の百貨店などにも出向き、試飲販売の実績を積んできた平出さんは、これほど地元の方々との交流を深められる場があるとは…！と喜びを隠せなかった。お客さんと対面でお話をしたり、ひまわり市場に搬入に来るさまざまな生産者さんとも顔見知りになって、輪が広がっていったという。

「人にも自然にも恵まれた地域で…すっかり北杜市が好きになってしまいました。ちょうど子供も手を離れ、よし！夫婦で移住しちゃおう！と思い切って決断し、今年の3月に甲府から小淵沢に引っ越してきました」と打ち明ける。

長年勤務したサドヤを退社するにあたっては「ワイン界に衝撃が走る！」と噂する人たちもいたほど。「移住が先で、転職については考えていなかったのでも、自分でもなんだか信じられません」と照れ笑い。迎えるひまわり市場では、ベテランの職人さんも若手のスタッフさんもみんな「あの『世界のヒライデ』と毎日一緒に働けるなんて！」と諸手を挙げて大喜びをした。

「店を訪れるなじみの方にとっては、しょっちゅう姿を見かける私のことだから『ひまわり市場のジャンパーも着るようになったんだね』とか『最近レジにも立つんだね』と声をかけられ、ごく自然に受け入れてもらって…というか…私が入社したことにさらさら気づいていない方も多くて(笑)あらためてご挨拶させてもらったりしています。平出さんは嬉しそうにそう話す。

目指しているのは「ハケ岳のびっくり箱」

ひまわり市場

北杜市大泉町谷戸 3905

TEL.0551-38-4744

<http://himawari-ichiba.com/>

ホームページ見てね!! ひまわり市場

営業時間

9:30~20:00

年中無休

検索

